

©幸せな贈り物

‘オッパ (兄さん)’ はカンナムスタイル?

私の人生は

スタイル!



踊る地球 最近、歌手PSY (サイ) の「江南 (カンナム) スタイル」がユチューブ照会数 1,900 万件にもなり、世界的な人気を呼んでいます。

「昼間にはやや暖かい人間的な女、コーヒー一杯の余裕を分かる品格ある女、夜がくれば心臓が熱くなる女、そのような二面性のある女。おれは男、昼間には君だけにやや暖かいそのような男、コーヒー冷める前に一気に飲み干す男、夜がくれば心臓がさく烈してしまう男、そのような男。美しくて愛らしくて、そうだ君 hey、そうだまさに君 hey、今から行くところまで行ってみるか。オッパ (兄さん) は江南 (カンナム) スタイル…」

現在 LA タイムズ、CNN、ウォールストリートジャーナルなど、アメリカ内の世界的マスコミが先を争って扱っているなかで、T-ペイン、ロビーウィリアムスなど世界的な歌手も、やはり SNS およびブログを通して「江南 (カンナム) スタイル」ミュージックビデオのコミカルさと愉快さに賞賛を惜しまなく送っています。

「オッパ (兄さん) は江南 (カンナム) スタイル」の世界的な流行に対して、専門家はヒット要素 3 拍子である「ユーモア、踊り、歌」の中毒性を取りそろえているためだと分析しました。

PSY (サイ) はあるインタビューで告白して「観客が素晴らしくてこそ光が出る。また観客が狂ってこそ、私が光が出る。すなわち、観客が狂う歌を継続したい」と言いながら、多くの困難の中でも一ヶ所の井戸を掘った「初心スタイル」が成功の秘訣だと告白しました。

一方、江南 (カンナム) スタイルは「テグ・スタイル、おぼん・スタイル、アメリカ・スタイル、弘大スタイル、ガンダム・スタイル、寄宿舍スタイル、兄さんはぴったり私のスタイル」など、各種のパロディでまたオンラインを熱くしています。

すべての人間にはストーリーがあって、スタイルがあります。そのスタイルがまさにその人間です。

私の人生は「もしかしてスタイル」 私の人生はどんなスタイルとして準備していらっしゃいますか。

- ① いっしょうけんめいに生きているのに、なんのために生きるのか意味がなくて、理解できないむなしさと空虚さの中でさまよっているではありませんか。
- ② それで、私も知らない間にインターネット、アダルト、ギャンブル、アルコール、ゲーム、麻薬に中毒になって、人間関係、家庭問題、経済問題で苦しんでいませんか。
- ③ あるいは、たしかに経済的に、社会的に成功したのに、人には話せない自分だけの悩みと、続く問題で苦しめられているではありませんか。
- ④ 先祖代々、偶像をおがんで、占って、お祓いをして、お守りやおふだを付けているのに、災いと困難が続いているのではないですか。
- ⑤ とても努力して、最善を尽くしても、特別な理由と原因もなく、事業、職場、家庭に困難が続いているではありませんか。
- ⑥ 未来の運命が分からないで、いつも不安で苦しいではありませんか。
- ⑦ ストレスで苦しめられて、うつ病で生きる意欲を失って、否定的な考えに捕われて、自殺衝動を感じているではありませんか。
- ⑧ 家庭と家系に、願ってもいない不治の病や、精神的な疾患で家族が苦しんでいませんか。
- ⑨ 家庭不和による葛藤の中で、家出、脱線、不安、あせりで深刻に苦しんでいるのではないですか。
- ⑩ 誤った友人関係によって、子どもの家出、墮落、さまよい、盗癖、各種の中毒症状で悩んでいるのではないですか。
- ⑪ 夜ごと悪夢、金縛り、幻覚、幻聴に苦しめられていませんか。
- ⑫ 宗教を持っているのに、まことの喜びと平安がなくて、罪悪感と悪い霊で苦しんでいませんか。
- ⑬ 信仰生活をするのに、まことの答えと平安がなくて、しばしば不信仰に捕われて、問題の前で挫折して落胆してしまっていないですか。

私の人生は「幸せスタイル」 このように変えられます。

- ① 唯一の神様が世の中をみことばで創造して、祝福されました。
- ② 本来の人間であるアダムとエバ、二人をお造りになって、神様とともにいて、最高に幸せな存在として祝福されました。
- ③ ところが、人間は神様との約束を破って神様を離れて、罪と運命に縛られる創世記3章の問題に陥ってしまいました。
- ④ その背後にはサタンの策略がありました。人間はそれ以後、どんなものによっても、罪と運命の問題、来世（地獄）の問題、霊的問題とサタンの問題を解決できなくなりました。
- ⑤ それゆえ、神様が人間のすべての問題を解決するキリストを送ってくださいました。キリストは、神様に会う道である預言者、罪が赦される道である祭司、サタン（悪魔）の権威を打ち砕かれた方です。そのための十字架で死んで復活されたイエス様がキリストなのです。
- ⑥ イエス・キリストは、本来の人間の失敗を回復して、人間にまことの幸せと救いを回復させてくださいます。だれでもイエスをキリストとして信じて受け入れるとき、神様の子どもになります。
- ⑦ 救われた人には、驚くべきことに七つの祝福を受けるようになります。悪魔の子どもから神様の子どもになって、聖霊の導きを受け、祈りの答えも受けるようになって、苦しみを与えた悪霊を縛ることができるかと天の御使いの助けと神の国の喜びと世界福音化の証拠を味わうようになります。
- ⑧ 神様の子どもになる瞬間から、運命・運勢はあなたと何の関係もなくなりました。
- ⑨ 救われた人は、どんな場合にも神様の子どもとして導かれながら、危機が押し寄せてきても、勝利の位置に立つようになり、祈りの答えを受けて罪の赦しを受けるようになります。
- ⑩ 実を結ぶ感謝をしながら今日を生きて、神様によって喜んでください。

「主イエスを信じれば、永遠な幸せスタイルになります。あなたは大切な人です」

礼拝 人が必要です

このような人 「人ならばみな人なので、人は同じでこそ人だろう」ということばがあります。必ず必要な人があって、いてもいなくても同じ人がいて、地球を離れなければならない人がいます。必ず必要なことをする人がいて、してもしなくても同じことをする人がいて、してはならないことをする人がいます。もちろん、長く生きなければならないのですが、意味があるならば、はやく死んでもかまいません。聖書を見れば、ステパノ執事は一度伝道して死んだのですが、一度の伝道で世界福音化をした証人の人生でした。もちろん、私たちが健康ならば良いのですが、健康でなくてもかまいません。パウロは、からだ病気で苦しくても、世界福音化をしました。むしろ、伝道者で生きる道が最も栄光に満ちた道であることを告白しました。私たちも、今日、決めなければならないことがあります。私たちは腐ることを握って、ちりあくたのように生きるのでしょうか、そうでなければ、キリストの栄光を見上げながら素晴らしく伝道者として用いられる人生を生きるのでしょうか。一度だけの人生の年数を計算することができて、賢く、価値あるように生きなければならないでしょう。そういう人が切実に必要な時代ではないでしょうか。このような人が多くなったら、私たちの社会がどうなるのでしょうか。

このような礼拝 今日、教会はどんな教会にならなければならないのでしょうか。①行きたい教会になるべきです。②会いたい牧会者であるべきです。初代教会はパウロが持っている福音のために命までかけると言いました。③素晴らしくて生きがいがある信徒であるべきです。ところで、礼拝に成功すれば、この部分が解決されます。なぜなら、その礼拝の中で宣言されるのが神様のみことばで、福音で、その中で世の中に勝つ力を与える聖霊の働きが現れるためです。初代教会は、礼拝をささげに行けば天国でした。福音（イエス・キリスト）の中にすべてがあるという事実が礼拝の時ごとに見えて、パウロもすべての知恵、知識の宝が福音の中にあると告白しました。ですから、礼拝の時ごとに力を受けて、世の中を生かすすべてのみわざが始まるのです。どの程度なのかというと、初代教会は福音のために命をかけました。福音にあって、どんなことも問題になることがないというすべての結論と、福音にあってこれから起きるすべての結果を知るようになったためです。それだけの、命をかける価値を発見するようになったのです。それが初代教会がささげた礼拝でした。福音にあって、礼拝が回復すれば、すべてがみな回復します。聖日に必ず確認しなければなりません。①神様が今まで私にくださったみことばと、成就したみことばはなにか。②神様が私に答えられたことは、どのようなものか③神様が私にくださった証拠はなにか。④それでは、私が6日間に黙想しながら答えを受ける祈りの課題は何か⑤そうすれば、これから私が何をすることが見えるようになります。神様は救われた人を聖なるものとしてくださいました。区別されたということです。創造の時から、キリストの復活と終わりの日まで、神様がこの安息日を聖なるものにして、その日を祝福してくださいました。このような力を受ける日が、まさに聖日（主日）で、神様が願われる礼拝です。

神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタン(Satan)の支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



「私は 失敗するときごとに…」

アメリカでは、毎年、歴代政治家の中で最高の政治家をアンケート調査を通して選びます。そのアンケート調査でいつも不同の1位の座を占めている人物があります。私たちがとてもよく知っている、だれでも大統領という目標を持たば一回ぐらい考えてみる人、エイブラハム・リンカーンです。そして、その人の伝記を読んだ人は、だれもが知っている失敗の代名詞です。

10歳という幼い年齢で、片親の下で成長していたリンカーンは、ひどい貧困の中で成長します。林の中の丸太小屋で、一日三食の食事を心配しながら成長して、やっと学校は一年通っただけのリンカーンが、今、私達が知るリンカーンになったところには、お母さんの信仰が大きい役割をするようになります。お母さんが亡くなるときに、手に握らせてくれた聖書、そして、お母さんの祈っていた姿は、リンカーンの姿に一生、焼印を押されるように残って、彼の一生をそのなかで生きるように導きます。

結局、大統領になったリンカーンは、その職務を遂行しながら、建国以来、最大の危機であった南北戦争を迎えるようになります。このような危機以前にも、予想もできない大統領当選の中で使う人を探すことができなかったのですが、リンカーンはそれゆえ、政府の要職に、自分が願う人でなく、その場に本当の適任者を与党、野党を問わずに選んで立てる目を持つことができました。そして、南北戦争の渦中にも、彼は教会の礼拝は絶対に止まらないようにしたのですが、ケガ人を受け入れる病院が不足して、教会を病室で使おうとした政策を一気に握りつぶしたりもしました。南北戦争がいつも神様側に立っていたリンカーンの祈りの中で、北軍の勝利で終わった後、また南と北を共同体でひとつにしました。

このように時間が過ぎた後、ある日、ある新聞記者がリンカーンのそばに近づいてきてこういう質問を投げました。「あなたの驚くべき成功と尊敬を受ける人生の秘訣はどこにあると思いますか？」リンカーンは笑いながらこのように答えました。

「それは、他の人より失敗をたくさん経験したためです。私は失敗する時ごとに失敗に含まれた神様のみこころを学んで、それを飛び石の橋として活用しました。サタンは、私が失敗する時ごとに『もうお前は終わりだ』とささやきました。しかし、神様は私が失敗する時ごとに『今回の失敗を教訓にして、より大きいことに挑戦しなさい』と言われました。私はサタンのささやきより、神様の御声に耳を傾けたのですよ」と返事をしました。

主にあって、私たちの生活の中で目の前に見える問題に対して不信仰をするよりは、その問題の後に準備しておかれた神様の計画を見上げながら、私たちにくださったみことばをもう一度見たら良いのです。私たちの次世代のみんなが、すべての危機と問題の中で悩んでさまようのではなく、神様が与えられ、はじめられた世界福音化のビジョンの中で、神様が成し遂げるその日を見ながら、今日、神様の答えを持って全世界がこのいのちの福音を聞くその日まで、いのちの光を放つ、その夢を見るように願います。

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」（ローマ 8:28）

文・編集部

*相談したい方はこちらまでどうぞ